

地域一体となった産地づくりPRを今後とも続けていきますのでご協力の程、お願い致します。



「太陽の瞳」の歌に合わせてダンスを披露してくれました。



ミニトマトも試食しました。

静内保育所の子供たちは5月30日に選果場と中道農園を視察しました。



ハウスの中はとても暑かったです。

熱中症にご注意ください



熱中症が疑われる場合の処置

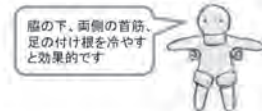
1. 暑い環境で体調不良の症状がみられたら、すぐに作業を中断しましょう

※ 代表的な症状は以下のとおりですが、熱中症には特徴的な症状がなく、「暑い環境での体調不良」は全て熱中症の可能性がります



2. 応急処置を行いましょ

- ※ 涼しい環境へ避難しましょう
- ※ 服をゆるめて風通しをよくしましょう
- ※ 水をかけたり、扇いだりして体を冷やしましょう
- ※ 水分・塩分を補給しましょう



3. 病院で手当を受けましょ

※ 意識がない場合、自力で水が飲めない場合、応急処置を行っても症状がよくならない場合は、すぐに病院で手当を受けるようにして下さい



夏の農作業で心がけること

1. 日中の気温の高い時間帯を外して作業を行いましょ

- ※ 特に70歳以上の方は、のどの渇きや気温の上昇を感じづらくなるので、高温時の作業は極力避けましょ

2. 作業前・作業中の水分補給、こまめな休憩をとりましょ

- ※ のどが乾いていなくても20分おきに休憩し、毎回コップ1～2杯以上を目安に水分補給しましょ
- ※ 足がつったり、筋肉がビクビクする症状がみられたら、0.1～0.2%程度の食塩水(1Lの水に1～2gの食塩)、スポーツ飲料、塩分補給用タブレットを摂取しましょ
- ※ 市販品を摂取する際は、必ず成分表示をチェックし、適切な量を摂取してください
- ※ 休憩時は、日陰等の涼しい場所で休憩し、作業着を脱ぎ、手足を露出して体温を下げましょ



3. 熱中症予防グッズを活用しましょ

- ※ 屋外では帽子、吸汗速乾性素材の衣服、屋内では送風機やスポットクーラーなどを活用しましょ

4. 単独作業を避けましょ

- ※ 作業は2人以上で行うか、時間を決めて水分・塩分補給の声かけを行うなど、定期的に異常がないか確認し合うようにしましょ

5. 高温多湿の環境を避けましょ

- ※ 暑さ指数(WBGT)計、温度計、湿度計で、作業環境を確認しましょ
- ※ 作業場所には、日よけを設ける等できるだけ日陰で作業をするようにしましょ
- ※ 特にビニールハウス等の施設内は風通しが悪く、早い時期、早い時間から暑さ指数(WBGT)が高くなるため、風通しを良くしたり断熱材を活用しましょ

農業中の熱中症による事故は7～8月にかけて多い傾向があります。知らず知らずのうちに熱中症にかかっている場合もありますのでご注意ください